

# 花みずき

平成 30 年 5 月号

-発行-

介護老人保健施設

保倉の里

保倉の里診療所

ご利用者の目の前に置かれた大量の葉っぱ。これから何が行われるのでしょうか・・・。



## 昔懐かしい「ほおば飯」づくり

ご飯にきな粉をまぶし、朴の木の葉っぱで巻いた「ほおば飯」。その昔、田植えが終わったお祝いや、きな粉をまぶしたご飯が稲穂に見える事から、豊作を願って食べられていたそうです。さくらグループで、この「ほおば飯」をご利用者の皆さまから作っていただきました。一口食べると、朴葉の香りが口いっぱいになり、昔懐かしい味を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



## 春の「大浦安げんき市」へお出かけ

こすもすグループのご利用者の皆さまは「大浦安げんき市」に出かけてきました。この市は大島区・浦川原区・安塚区の住民の皆さんがお互いに交流を深めながら開催しているそうです。売店では、地元で採れた野菜等が販売されており、参加されたご利用者の皆さまは売店めぐりを楽しまれました。その日は天気にも恵まれ、気温が高かったので、外出の締めくくりに「かき氷」を召し上がられ、楽しいひと時となったのではないのでしょうか。





## 「食事を選ぶ楽しさ」も提供します

ご利用者の皆様に食事を選ぶ楽しさを味わってもらうため、昼食にバイキングを開催しました。メニューを眺めながら食べたいものを選ぶ楽しさはもちろん、彩の良い盛り付けを工夫されたりと、いつも以上に笑顔あふれる昼食となりました。また、楽しさだけでなく、トレーを持ちながら移動することは生活リハビリの一環となります。ご利用者の皆様の心と身体を動かす「バイキング」、今後も計画させていただきます。



## 畑ごと始めんでね!!

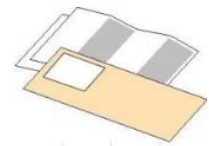
暖かな陽気が増えるとともに本格的な園芸活動が始まり、グループごとに「きゅうり」「トマト」「オクラ」等の栽培を行っています。また、テラスでプランターを使って花や野菜栽培をしています。農作物や花の栽培といった園芸活動は、季節の変化を感じながら収穫までの過程を継続的に楽しむことができるもので、ご利用者の皆様の「日常生活の活性化」「主体性の創出」を育むサービスとしても有効であると感じます。



## -入所サービスご利用の皆様へ- 証書類の提示のお願い

平成 30 年 7 月 31 日をもちまして下記の証書の有効期間が満了となります。**新しい証書**がお手元に届きましたら**事務室までご提示**くださいますようお願い申し上げます。

- 後期高齢者医療被保険者証
- 介護保険負担割合証
- 介護負担限度額認定証（お持ちの方）
- 上越市介護保険サービス利用者負担金助成認定証（お持ちの方）



## ご寄附の紹介

[寄付金]・大竹 猛 様

-上記の方からご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。

## 相談（苦情・意見）について

当施設におきましては、受付担当者、解決責任者、第三者委員を置き、利用者・ご家族からの相談(苦情・意見)に対応させていただきます。

解決責任者 施設長 高橋 規一(理事長)  
 受付担当者 支援相談員 内山 裕  
 第三者委員 横山和雄 (025-599-3329)  
 布施一郎 (025-594-3466)

## 発行



社会福祉法人くびき社会事業協会

介護老人保健施設保倉の里

TEL:025-599-3990/FAX:025-599-3991

保倉の里診療所

TEL:025-595-3123



URL: www.kubiki-sjk.or.jp